

5 単元計画

単元の 評価規準	関心・意欲・態度	(読む) 能力	知識・理解
	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わおうとしている。	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。	文体や修辞などの表現上の特色をとらえている。 夏目漱石に関する事柄、文学史的知識等を理解している。

次	時	観点ごとの評価規準			評価の方法 Cの生徒への手立て	評価規準を実現するための活動	指導上の留意点・ポイント
		関心・意欲・態度	(読む) 能力	知識・理解			
1	2	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえようとしている。			【記述（プリント）の確認】 随時机間指導を行い、ヒントを与える。	○夏目漱石に関するまとめプリントを行う。 漱石の文学史的な知識をまとめる。 ○「ころ」の本文クイズを行う。 全体の話の流れをつかませる。	第3次のパネル展見学に向けて関心をひきだす。
2	3			文体や修辞などの表現上の特色をとらえている。	【記述（プリント）の確認】	○本文クイズの答え合わせをする。 「私」、「K」の人物像、心情変化を整理する。	前半の部分は一斉指導をし、後半はグループ学習で学びあいをさせる。
3	1			夏目漱石に関する事柄、文学史的知識等を理解している。	【行動の観察・確認】 【テストによる確認】	○「夏目漱石パネル展」を見る。 夏目漱石の人生や作品について学ぶ。	「夏目漱石パネル展クイズ」を並行して行わせ、自発的にパネルを見るようにさせる。
4	5	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。			【グループ活動の状況観察・確認】 【記述（作成シート）の確認】 【テストによる確認】 随時機間指導を行い、ヒントを与え、グループ活動、話し合いを活発にさせる。	○「K」と「私」についての心情描写を本文から抜き出す ・換でへだてた二人の気持ちを考える。 ・「私」は「K」に対してどう思っていたのか。 ○「K」と「私」の関係を考える ・「精神的に向上心のないものはばかだ。」と言っていた頃の「K」について考える ・その言葉を、逆に「私」から言われた時の「K」の気持ちを考える ○「お嬢さん」と「K」、「私」の関係を考える ・「お嬢さん」は、「K」と「私」のことをどの様に思っていたのか。 ○「K」と「私」が歩いたルート、「私」が歩いたルートを地図上で確認する ・「私」は歩いている間何を考えていたのか？ ○「K」の自殺について考える ・遺書の内容は？・なぜ死のうと思ってしまったのか？ ・「私」はどう思ったのか？ ・「恋は〇〇ですよ」に当てはまる言葉を考える。	グループで活動することで、長い文章をパート毎に読み取らせ、また、グループ毎に発表させることで自発的に読み解くことを生徒に意識させたい。 ここでの読み取りを第5次の活動につなげるためにも、机間指導を随時行う。
5	1	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わおうとしている。			【記述（評価シート）の確認】	○図書館のパネル展を参考にして、「ころ」の紹介をつくる。 ・2点のテーマについて自分たちで工夫して作成する ○それぞれの作品を見る ・各々の作品を見合うことで人物描写や場面の情景、心理描写が捉えられているか振り返る。	作成した資料の良し悪しで判断せず、本文の内容をしっかりとらえたものに出来ているかを評価し、評価シートも単なる感想にならないよう工夫する。

具体的な評価規準と評価方法	学習活動
<p>【評価規準】 文章を読んで、書き手の意図や、人物、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。</p> <p>【評価方法】 それぞれのグループで作成したシート</p>	<p>前次の「パネル展」見学の振り返り。 これからの話し合いについてのポイント説明。</p> <p>グループに分かれ、各グループ毎に担当範囲をきめ、その担当範囲から、「K」と「私」についての心情描写を本文から抜き出す。</p> <p>「K」と「私」それぞれのシートに心情描写部分を書く。</p> <p>黒板に貼り付け、全体で心情変化の流れの確認をし、襖でへだてた二人の気持ちを考える。</p> <p>心情変化が起こった事件や言動を捉え、「私」は「K」に対してどう思っていたのかを考える。</p> <p>その思考作業から、次回の課題である『「K」と「私」の関係を考える』につなげる。</p>

7 振り返り

【自分の振り返り】

展開の最後に、黒板へシートを張り付けてもらったが、自分で説明をするのではなく、もっと生徒達に考える時間を設けるべきであった。結局時間が5分ほど余ってしまい、あいまいな感じで授業を終わらせてしまったので、授業の最後に、生徒がどのような姿になっているのかイメージ出来ていなかった。もっともっと工夫が必要であった。

【協議での指摘事項・課題】

- ・全文をしっかりと理解していないと難しいのではないだろうか。
- ・「K」と「私」のシートを張り付けるならば、黒板を横に使うと対比していくともっと解りやすくなる。
- ・「心理描写」という表現では難しいので、指示の言葉を変えていくべきである。たとえば、「気持ちを表している部分」というような表現はどうか。
- ・この文章は、「私」の遺書であるので、「K」の心理は、「私」からの視点で描かれていることを最初に伝えておくべきであった。
- ・もっと考える時間を取ってもいい。ただ、集中時間を考えると20分くらいが限界かもしれないのでちょうどよかったのかもしれない。もっと良くなるような工夫が出来る。方向性は良かった。
- ・取組みは良い。どんどん新しいことにチャレンジするべきである。
- ・グループ活動を積極的にやっていたのかもしれないし、当校ではそれが出来る生徒になってきているので国語科全体で取り組むようにしたらどうか。
- ・生徒の役割をローテーション制にして全員が参加できるようもっと工夫が必要である。

国語科（現代文）学習指導案

指導者 内田 一利

- 1 対象・日時 第2学年 7組
平成25年10月 1日 6校時
- 2 単元名 「こころ」の内容紹介パネルを作成しよう！
- 3 本単元の目標（学習指導要領の指導事項＋生徒の実態）
 - 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わおうとしている。（関心・意欲・態度）
 - 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。（読む能力）
 - 文体や修辞などの表現上の特色をとらえている。（知識・理解）
 〈生徒の実態〉
積極的な生徒も多く、活発であるが、自発的に文章を読み進めることは出来ない生徒が多い。この単元の学習をきっかけに読書活動を始めてもらいたい。
- 4 単元・題材・教材について
 - 夏目漱石「こころ」
現代文の定番教材であるが、文章が長く、読むのをあきらめてしまう生徒も多い。教科書に掲載されている部分の内容は、先生と親友Kの心理描写が中心に描かれており、Kが心理的に追い詰められていく。Kそして、その後の先生の苦悩を考えさせられる場面である。
今回は紹介パネルを作成することで、より生徒が主体的に作品と向き合い、自発的な読みに結び付け、結果として文章の読みが深まること、加えて読書の楽しさを知り、読書活動が活発になることを目指したい。

夏目漱石パネル展クイズ!

- ①夏目漱石は日本で () 人目の英文学士
- ②印には何と彫られていますか?・・・()
- ③漱石山房はどこにありましたか?・・・()
- ④漱石山房の家賃は、今のお金で () 円?
- ⑤漱石の子どもは何人?・・・() 人
- ⑥漱石山房の面会日は () 曜日の、() 時以降ですよ♪
- ⑦漱石の本名は?・・・()
- ⑧愛媛県尋常中学校の教員の時、
月給は、校長より高い () 円だった。
- ⑨「吾輩は猫である」は誰が添削したかな?・・・()
- ⑩「吾輩は猫である」は何冊で発表したかな?・・・() 冊!
- ⑪「吾輩は猫である」のモデルの猫の墓があった場所はどこ?
()
- ⑫朝日新聞社入社時の月給は () 円
- ⑬漱石が初めて自分で装丁した本は?・・・()
- ⑭漱石がロンドンでの5番目の下宿はどこ?・・・()
- ⑮初めての自伝的小説は?・・・()

夏目漱石パネル展クイズ答え

- ① 2 ② 漱石山房 ③ 早稲田南町 ④ 35万 ⑤ 7 ⑥ 木・15
- ⑦ 夏目^{きんのすけ}金之助 ⑧ 80 (今の金額だと約80万円!) ⑨ ^{たけはまきよし}高浜虚子 ⑩ 3
- ⑪ 漱石山房 ⑫ 200 (今の金額だと約200万円!) ⑬ ころも
- ⑭ ザ・チェイス81番 ⑮ ^{みちくさ}道草